

考えよう！災害時のペット対策

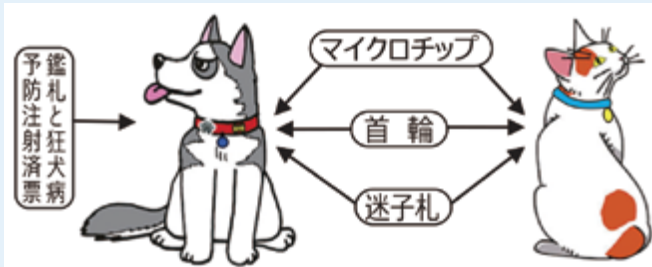
災害はいつ起こるかわかりません。大規模災害発生時には、地域防災拠点へのペットとの同行避難が必要になる場合があります。日頃からペットの防災について心構えと備えをしておくことが大切です。

1. 日頃からの備え

○ペットフード（約1週間分）や飼育ケージなどの用意は基本的に飼い主の責任です。ペット手帳などペットの情報がわかるものも準備しておきましょう。



○災害時、万が一ペットと離ればなれになったときのために、鑑札や狂犬病予防注射済票（犬）、迷子札、マイクロチップの装着など飼い主の明示を行いましょう。



○地域防災拠点では多くはケージ飼育のため、ケージ訓練や基本的なしつけ（マテ・フセ）を行っておきましょう。また、ワクチンや狂犬病予防接種、ダニ・ノミの駆除など日頃から健康管理もおきましょう。

○親戚や知人など、緊急時に一時的でも動物を預かってくれる場所を確保しておくことも一つの方法です。

2. 地域防災拠点では

○避難してくる人のなかには、動物が苦手な方やアレルギーを持っている方もいます。そのため、地域防災拠点では原則的に人が優先されますが、ペットに関するルールは、地域防災拠点によって異なります。飼い主の責任のもと、ルールを守り、協力し合ってペットを管理しましょう。

○居住スペース（体育館や教室など）に動物を入れることは原則としてできません。ただし、身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬および聴導犬）の同伴は可能です。

【お問合せ】 磯子区生活衛生課
電話 750-2452 FAX 750-2548